



新南陽地区の特産品に長州麦味噌ビール ブティ ミソーレを青年部がプロデュース

新南陽商工会議所青年部(大嶋勇一郎会長)がプロデュースして開発を進めていた新南陽地区の特産品「長州麦味噌ビール・ブティミソーレ」が完成し、人気を集めている。

周南市の新南陽地区を代表する商品開発を通して、地域の可能性をたくさんの人に感じてもらえる商品を生み出すことで、新南陽地区の魅力を発信しようとする青年部の大嶋会長が呼びかけて青年部の精鋭4人が集まり「麦味噌ビールプロジェクト」を立ち上げた。山本淳さんがプロジェクトリーダーとなり、新南陽商工会議所の中小企業相談所に企画を相談し、地元企業の(株)シマヤみそ事業部長の原田大介さん、道の駅ソレーネ周南スタッフが大介さん、平成30年5月にキックオフして、10月末に山口市の山口地ビール(株)から発売された。

山口県産の原材料にこだわり、(株)シマヤの県内産裸麦「トヨノカゼ」と県内産大豆「サチユタカ」を原料とした麦味噌と県内産大麦の地ビールがコラボして、山口県一〇〇%の想いが溶け込むビールを生み出そうと、試飲会を重ねて、麦味噌の香りが楽しめる苦みが苦手な人でも美味しく飲むことができるビールに仕上が



長州麦味噌ビール・ブティミソーレ



新南陽商工会議所青年部
 会長 大嶋 勇一郎さん (写真右)
 顧問 山本 淳さん (写真左)

【長州麦味噌ビール Buti Misôle】
 山口地ビール株式会社で製造元で原材料は麦芽、麦味噌、ホップ。330mlで648円(税込)。周南地区では道の駅ソレーネ周南、サラダ館まどころ店(山本屋)、まちのポートなどで販売している。

青年部が味とラベルデザイン、ネーミングを監修し、山本さんを中心にターゲットを若い女性に置き、(株)シマヤの女性スタッフにも参加してもらいながら試作品の味を作り上げた。ラベルは大嶋さんが永源山公園からドローンを飛ばして空撮し、地域のシンボルである風車越しに市内や工場風景が写る新南陽地区の写真に、商品名の「長州麦味噌ビール・ブティミソーレ」が入っている。

商品名は方言の「ぶち」を外国語風にアレンジして「ブティ」にし、道の駅ソレーネ周南をイメージした「ミソーレ」

で「ブティミソーレ」と命名した。大嶋さんは「国内に留まらず、世界に羽ばたく商品に育って欲しい」と話している。山本さんは「シマヤさんの全面協力を頂き感謝している。商品化にこぎつけたのも様々な人たちの協力のおかげで、青年部の想いのこもったものが完成し、一〇〇点満点の出来栄です」と笑顔。青年部では今後も新南陽商工会議所と連携して商品開発を進めながら地域経済の発展に挑戦していく予定で、大嶋さんは「青年部と一緒にまちづくりにも挑戦したい仲間や新商品のアイデアや活用協力など大歓迎です」と呼びかけている。